

被災した建物のアスベストにご注意ください！

この度の災害にて多くの建物が被災し、順次片付け等が進められているところですが、築年数の古い一般家屋にもアスベスト（石綿）を含む建材が使用されていることがあることから、お住まいの方やボランティアの方が家屋等の片付けをする際、アスベストを吸い込む（ばく露する）ことが懸念されます。

アスベストは、ばく露することで健康被害を生じる場合があることから、裏面の記載内容にご留意のうえ、ばく露しないようご注意ください。

戸建て住宅でアスベストを含む可能性がある建材と使用箇所の例



窯業系サイディング



屋根用化粧スレート



せっこうボード

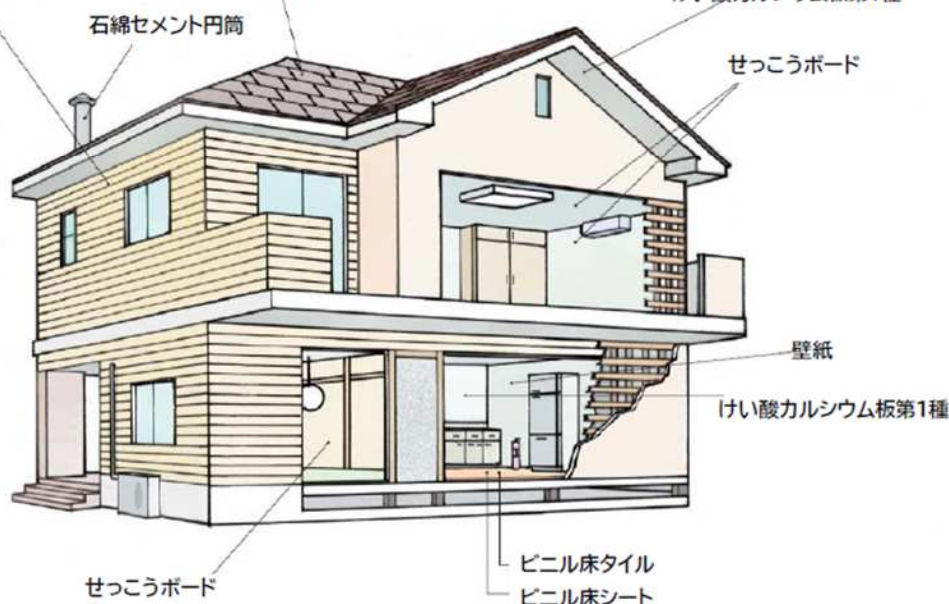


けい酸カルシウム板第1種

有窯業系サイディング

屋根用化粧スレート

けい酸カルシウム板第1種



【出典】 国土交通省 目で見えるアスベスト建材（第2版）一部改変

《 裏面もご確認ください 》

【お問い合わせ先】

静岡市役所環境保全課 大気係

電話 054-221-1358（直通）

静岡市アスベスト情報ページはこちら→



倒壊・損壊した建物の周囲で作業を行う場合の アスベストばく露防止について

倒壊・損壊した建物の周囲での作業が必要なときは、アスベストにばく露しないよう、次の事項にご留意のうえ、作業してください。

【対策方法】

- 1 **防じんマスクを着用する。**
- 2 成形板（スレート材等の建材）を片付け、処分する際には、散水等により湿潤化する。
- 3 成形板のハンマーでの破砕やカッターでの切断など、粉じんを発生させる作業を行わない。
- 4 むやみに**倒壊・損壊した建物や解体現場に近づかない。**

防じんマスクについて

粒子除去効率95%以上の国等の規格に適合した防じんマスクを着用してください。
装着方法等は、以下を参照してください。

粉じんのばく露を防ぐために

正しく防じんマスクを装着しましょう

適切な性能を有する防じんマスクを使いましょう

以下のいずれか一つ以上の合格・認定を受けた防じんマスクを使いましょう。

- ・ 厚生労働大臣の型式検定
例：DS2マスク 等
- ・ NIOSH規格
例：N95マスク 等
- ・ 欧州規格(EN149)
例：FFP2マスク 等

間違った防じんマスクのつけ方に注意しましょう

（使い捨て式防じんマスクについて「悪い例」の紹介）



しめひもが片側
はずれている



マスクが上
下逆さま



しめひもが首
元で2本がけ
になっている



しめひもを加
工して耳かけ
式になっている

防じんマスクをつけた時の注意点について

しっかりと顔に密着させましょう

- マスクの変形・破損が無いことを確認した上で取扱説明書に従って装着を行う。
- しめひも調節が行えるものは、必ず適切な長さに調節する

顔に密着しているか確認しましょう

- 取扱説明書に従って使用のたびに必ず顔に密着しているか確認しましょう。
- もし、漏れ込みが感じられた場合は
 - ①マスクの位置を調節する
 - ②しめひもの長さを調節する 等を行って再度確認してください

※注意事項

- ・防じんマスクの規格は性能に応じた種類がありますので作業内容に応じた防じんマスクを選択して下さい。
- ・酸素濃度18%未満の作業環境では絶対に使用しないで下さい。
- ・使用中にマスクが損傷したり、呼吸が苦しくなったり等の場合には速やかに安全な場所に移動してください

資料出典：(社)日本保安用品協会
日本呼吸用保護具工業会
スリーエムヘルスケア(株)

